

つくばの新たな挑戦

～知と技術を集積し、低炭素で安全安心の環境・教育国際モデル都市を目指して～

つくば市長 市原 健一

1. つくばの成り立ち・特徴と低炭素化社会に向けた潮流

- つくば市の成り立ち 筑波研究学園都市と緑豊かな自然環境の共存
筑波研究学園都市 国家プロジェクトとして建設 知と技術の集積
6町村地域の合併による新たなつくば市制
日本を代表する世界的な研究開発拠点に成長
科学技術基本計画における重要性
- 緑豊かな自然環境 筑波山の自然、豊かな里山や農地の存在
「つくばスタイル」な暮らしが享受できる街
つくばエクスプレス沿線開発等の大規模開発の進展
→ 各研究機関等が有する技術 実証に最適の場
- 低炭素化社会に向けた潮流
地球温暖化の認識の進展 地球サミット 気候変動枠組条約
京都議定書の時代 ポスト京都議定書へ向けた議論の加速
ハイリングダム・サミット「温室効果ガス排出量50%削減」から洞爺湖サミットへ
→ 日本の主導性の発揮に向けたチャンス

2. 環境モデル都市に係るつくば市の取組み

- 経緯 地元つくばでの第一回つくば3Eフォーラムの成功 昨年12月
「2030年につくばにおける二酸化炭素排出50%削減」提言
目線の高い共通の主題 大学・研究機関、市民、企業、行政の連携の基盤
第169通常国会 福田首相施政方針演説 「低炭素社会への転換」
高い目標を掲げ、先駆的な取組にチャレンジする都市10都市選定 1月29日
→ 2月1日 「環境モデル都市」への立候補
- つくばの現状と環境モデル都市のコンセプト
『つくば環境スタイル計画』 ～知と創意で低炭素社会を実証する田園都市つくば～
CO₂排出の実態を見据えた対策 取り組みの4つの柱
公的研究機関の横断的提携 つくばの革新技術の実証実験を通じた実用化
市民、企業、大学・研究機関、行政が連携・実践を行う協働モデル
→ 『つくば環境スタイル』として統合的に構築
国内・世界のCO₂削減に貢献 発信・普及
- 未来のつくばへのまちづくり
低炭素社会を担う人材育成が鍵 大学・研究機関等のスペシャリストの活躍を期待
未来への新たな挑戦
 - ◆ 連携を活かした知見創出
 - ◆ モデル街区:ヒートポンプ・太陽光発電・緑住農一体型住宅
 - ◆ 藻類バイオディーゼル利活用の実証実験・低公害車化
 - ◆ 資源を活かす創意工夫
 - ◆ パンの街での地産地消
 - ◆ グリーンバンクで里山保全
 - ◆ 市民・地域と協働で創る安全・安心な環境